



# しののめYMCAこども園 園だより

2016年度7月号

発行者：こども園園長 堀江和広

聖句 「互いに愛し合いなさい」

わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。

これがわたしの掟である。

7月の聖句 「探しなさい。そうすれば、見つかる」

マタイによる福音書7章7節

毎朝、園庭の門に立ち、皆さんの登園を楽しみに待っています。しかし、このごろ気になることがあります。それは「おはよう！」「おはようございます！」の挨拶です。

ある日、どの位の園児たちが声をだして挨拶をするのだろうかと思い、頭の中で数えてみました。するとその日は、10人中4人の園児たちが大きな声で挨拶を交してくれました。その他の園児たちは、“ハイタッチ”や“ぐるぐる”をするのですが、挨拶がなかったの、「あれ？あれ？朝は、『おはようございます！』の挨拶をしましょうね！」という声かけをすると、「おはようございます・・・」、とほとんどの子が挨拶を返してくれました。

以前、教育カウンセラーの先生とお会いし、今、社会で起きている子どもたちの問題や、その原因について協議したことがあります。保護者の皆様には、お話をしたかもしれませんが、『いじめ・暴力・引きこもり・社会的不適応等』に陥ったり、またその様なことを引き起こさせないために私たち大人や親はどうしたら良いか、という内容でした。

結論は、大人や親が「毎日、普通の生活を送ること」であり、言い換えれば、子どもたちに、「普通の生活を送らせる・過ごさせる」と言うものでした。朝起きて、「おはよう」の挨拶や会話をしながらの朝食、その日の出来事を語り合いながら食べる夕食、そして家族団らんの時間を過ごし、お休みの挨拶で就寝・・・これが「普通の生活」なのだ先生はお話し下さり、どのような場面においても大切なことは、「コミュニケーションをとる」と言うことでした。しかしながら、このような『普通の生活』を送ることが、なかなか出来にくくなっていることも、現実です。

挨拶は自ら発信するものであり、お互いの心を温かくします。単なる挨拶ですが、それは他者や社会を結ぶ「はじめの一歩」であり、私たちにとって最も大切なことだと思えます。気持ち良い朝を迎えるためにも、大きな声で挨拶をしていきましょう。

園長 堀江和広